



石神地区内宿一区 自治会の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

2月12日 内宿一区の皆さん8名の方に参加していただき、住民原子力懇談会を実施しました。

核燃料サイクル工学研究所の再処理関連施設や震災後強化された設備類を見学し、活発な議論が行われました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、住民・原子力事業所・行政が施設見学や意見交換を行うことにより、相互理解を深め、原子力安全行政の充実及び原子力安全対策の拡充に寄与することを目的に、平成20年度から行っているものです。

今回は、内宿一区の皆さんのご希望で、日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所（以下、サイクル研）の再処理関連施設を中心に見学し、事業活動計画や安全対策について議論を行いました。

見学会では、分離精製工場、プルトニウム転換技術開発施設、ガラス固化技術開発施設、電源車などの緊急時に必要となる資機材の配備現場を見学し、事業内容と安全対策について学びました。

内宿一区の皆さんからは、事業内容の分かりやすい説明や、緊急用機材の保管の大切さなどが指摘されました。

原子力安全対策課からは、安全協定、排水や環境放射線の監視、防災計画づくり、放射線計測、石神城址公園の除染状況の報告がありました。

石神城址公園の除染は終了しました。北側の一部に除染で発生した廃棄物を保管していますが、その他の場所は利用できます。



<内宿一区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成26年2月12日（水）13時20分～16時50分

見学会 13時20分～16時10分

サイクル研内の会議室で概要説明

現場見学

分離精製工場

プルトニウム転換技術開発施設

ガラス固化技術開発施設

緊急安全対策等設備配備現場

懇談会 16時20分～16時50分

サイクル研内 会議室